



『From7 第59回 歯科医師 歯科衛生士 歯科技工士 コーディネーターMeeting』

日時:平成 26 年 7 月 2 日(水) 19:15-21:00

場所:白鳥歯科インプラントセンター2F 研修室

演題

1. 【チタンフレーム、ハイブリッドレジンタイプの上部構造製作の一症例】

歯科技工士 勝亦 晃也(白鳥歯科インプラントセンター)

『2006年に初診で見えられた患者様で2008年に上下フルのインプラント補綴を装着したがその二年後、当院では初めての下顎チタンフレームの破折をしました。そこで下顎の再製作を行ったが、ハイブリッドの破折を何度も繰り返す為プロビジョナルレストレーションからもう一度咬合を再構成し、上顎の補綴を作り直す事になりました。その際自分が上顎の補綴を作り直すことになりましたので製作にあたって工夫した点についてケースプレゼンテーションをさせていただきます。』

2. 【マイクロエンド】

歯科医師 庵原 桃子(白鳥歯科インプラントセンター)

『白鳥歯科インプラントセンターで根管治療を行うようになって3年になります。本日は、CTによる診断やレーザーの使用、外科処置などに焦点をあて、症例をまじえながら日ごろの臨床を振り返っていきたいと思います。』

3. 【審美領域のインプラントの治療】

歯科医師 白鳥 清人(白鳥歯科インプラントセンター)

『上顎前歯部の治療には、機能と同時に審美性が要求される。特に、インプラント治療の場合、歯牙の欠損に伴い歯槽骨が欠損していることが多く、その治療を複雑にする。今回は、審美領域のインプラント治療について、一歯欠損から多数歯欠損まで、様々なケースを提示しながらその対処法を考えてみたい。』